

認知症になっても安心できる 街づくりをともに考える

日時：2026年2月19日（木） 19:00～21:00

会場：てくのかわさきホール + Zoom（ハイブリッド開催）

参加費：無料 定員：（会場 60名）

認知症は、特別な誰かの話ではありません。

もし自分や家族、身近な人が認知症になったとき、その人らしく、安心して暮らし続けられる街はつくれるのでしょうか。介護家族の実体験と市民たちによる地域の取り組みの報告から、「認知症になっても安心できる街づくり」を一緒に考えます。



プログラム（抜粋）詳細は裏面記載

【基調講演（60分）】三橋 良博 氏
「認知症の人と共に生きる ～忘れても心は生きている～」

講演②（25分）「まちかどピクチャーズ」 講師：コスガ 聡一 氏
ディスカッション（22分）「川崎市のオレンジ活動」
登壇：コスガ 聡一 氏・中條 共子 氏

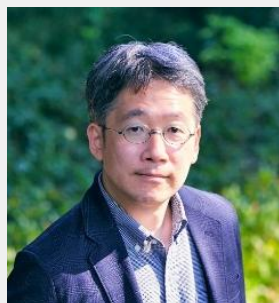
登壇者



三橋 良博

公益社団法人 認知症の人と家族の会理事・同神奈川県支部副代表

若年性認知症と診断された妻と認知症の両親の3人の介護を仕事をしながら続けてきた。認知症を隠すことなく周りに伝えることで多方面の支援を受けられたという自らの体験から、同じ境遇の家族や支援する人に役立つならばと、情報発信や講演会などの活動を全国各地で行っている。



コスガ 聡一
ジャーナリスト

23歳で会社員からカメラマンに転身。2016年よりジャーナリストとして認知症カフェ取材を開始した。2020年に著書『全国認知症カフェガイドブック』を出版。写真・文章・動画・企画・助成金事務などあらゆるスキルを駆使して新たな価値とつながりを創出する実践型クリエイター。



中條 共子
社会福祉士・川崎市
認知症ネットワーク
会員

2001年に認知症家族会 Togetherを家族介護仲間と立ち上げ、地域で相談・啓発活動、若年性認知症の本人・家族支援に取り組んできた。現在、オレンジカフェや「ロバ隊長」（認知症サポーターのシンボル）づくりを通じた地域啓発に力を入れている。

認知症になっても安心できる街づくりをともに考える (2026年2月19日(木) 19:00~21:00)

プログラム(予定)

19:00	開会あいさつ
19:05	【基調講演】「認知症の人と共に生きる ～忘れても心は生きている～」 講師：三橋 良博 氏
20:05	講演②「まちかどピクチャーズ」 講師：コスガ 聡一 氏
20:35	ディスカッション「川崎市のオレンジ活動」 登壇：中條 共子 氏・コスガ 聡一 氏
21:00	閉会あいさつ

申込方法



上記2次元コードを読み取りお申し込みください。

※フォームが難しい場合はお問い合わせ先へご連絡ください。

＜会場＞てくのかわさきホール（川崎市高津区溝口1-6-10）



【開催方法】会場（てくのかわさきホール）
+Zoom（ハイブリッド）

【参加費】無料 【会場定員】（60名）

＜注意事項＞

- ・本公開講座は、会場およびオンライン併用でのハイブリッド開催となります。
- ・会場申込が多数の場合、先着順とし、参加できない方にはその旨のご連絡をメール等で差し上げます。
- ・ご来場の方は、当日は感染防止対策（マスク、消毒）のご協力をお願いいたします。
- ・当日、37.5以上の発熱が見られる場合、または体調不良や咳等がある場合には、参加を見合わせるなど、感染対策にご協力をお願いします。
- ・事前申込なくご来場された方は、席に空きがあれば受付で申し出ていただくことで入場可能ですが、可能な限り事前申込にご協力ください。
- ・当日、会場での飲食はできませんので、ご注意ください。
- ・会場での携帯電話は電源を切るか、マナーモードに設定の上、ご参加ください。

＜お問い合わせ先＞ 公益社団法人神奈川県社会福祉士会 事務局
TEL 045-317-2045 平日月～金 9:00～17:00 URL <http://www.kacsw.or.jp>